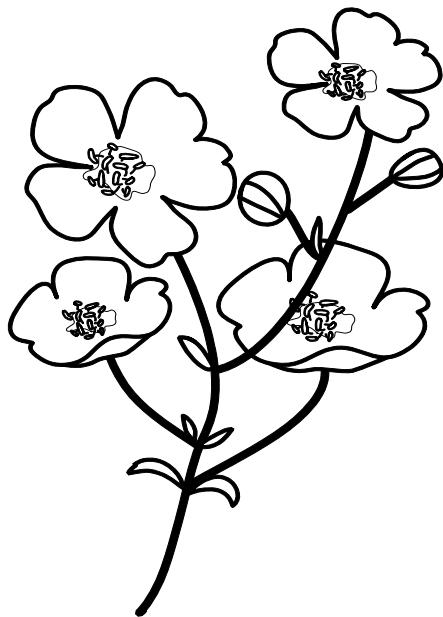




運営に関する計画

平成 30 年度



大阪市立菅原小学校

大阪市立菅原小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○いじめ対策委員会などを活用し、教職員の情報交換を活発にしてきた結果、平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合は 97.1% であり目標を達成した。今後も、早期発見、早期対応に努め目標を達成し続けることが必要である。校長経営戦略支援予算の加算配付によりカウンセリングルーム等の環境を改善した結果、不登校傾向の児童が 2 名、毎日登校できるようになったことは特筆すべき成果であった。また登校をしぶる児童についても、カウンセリングルームでのクールダウンを経ることで、落ち着いて教室に入ることができるようになった。新たに不登校になる児童も前年度に比べ減少した。防犯教室の実施や関係諸機関との連携により児童の健全育成に努め、暴力行為を複数回行う加害児童数も前年度より減少した。

○道徳心・社会性の育成の基本として「あいさつ」を掲げ、学期に 1 回のあいさつ強調週間や全学級が担当するあいさつ当番に取り組んできた。さらに取組方法を工夫し、元気よく場に応じたあいさつのできる学校にしていきたい。自尊感情の低さが積年の課題であった。芸術鑑賞や体験活動、「よいところ見つけ」や「すてきな自分カード」による自己分析などに積極的に取り組んだ。その結果、「自分にはよいところがある」の項目について、肯定的な回答が大きく向上した。さらに「学校のきまり・規則を守っていますか」割合についても、児童・保護者ともに向上した。

○地域に開かれた学校づくりに向け、情報発信に積極的に取り組んできた。ホームページの更新回数は 900 回以上、閲覧数も 30,000 回を超えた。保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答えた保護者の割合は 94% と目標を大きく上回った。今後は内容の充実を図っていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○学力向上の基礎として、読書習慣の定着を重視し、読書環境を整備し読書の質と量の向上を図った。蔵書を増やし読書カード等の工夫をしてきたものの、「進んで読書をしている」児童の割合が、平成 29 年度には 65% まで低下した(H27 年度 78.3%, H28 年度 76%)。学校図書館の蔵書や学級文庫の充実のみならず、①校内各所に読書スペースを設け、本をいっそう子どもにとって身近なものとする。②既存の図書館ボランティア、読み聞かせボランティアを拡充し、学校と地域の連携に読書活動を位置づける。③定期的に読書イベントの機会を設ける。などの多面的な取組が喫緊の課題である。

教員の指導力向上のために全員研究授業や校内研修を行い、子どもの興味関心を高めるためにタブレット等の I C T の活用を課題して取り組んだ。今後さらに、教員の授業力を高めるため、センターを中心に研修を計画し、取り組む必要がある。

また、家庭学習・自主学習の習慣化を図るため、優れた自主学習ノートを紹介したり、放課後の学習に学びサポーターを活用したりしてきた。さらに一人ひとりの状況に応じた学力向上に向け、授業内における学びサポーターの活用なども図っていきたい。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合も、H28 年度 66.1% H29 年度 60.8% と、成果を見ることができていない。話し合う活動の場の設定はしているも

の、考えを深め、広げるまでに至っていない。思考ツールなどを利用するなど、話し合う場の工夫が必要である。

全国学力・学習状況調査における無解答率の高さが課題であったが、平成 29 年度には平均で 2.0%となり、平成 28 年度より 4.7 ポイント減少した。最後まで粘り強く取り組むこの姿勢は、学力経年テストの結果にも表れており、特筆すべき成果と言える。

○健康に関する意識を向上させるために「手洗い・うがい」の強調週間や清潔調べを行っている。しかしながら、校内アンケートにおいて「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について肯定的に回答する児童の割合が向上していない。(H28 年度 80%、H29 年度 72%) 児童が健康により関心を持つことができるよう取組を強化するとともに、保護者にも積極的に啓発していきたい。

体力向上の取組として、体育科の授業の準備運動に、柔軟性を高める体ほぐしの運動を徹底した。また、なわとび週間やかけ足週間、各学級でみんな遊びを週 2 回以上設けるなど、運動の生活化を図った。全国体力・運動能力、運動習慣調査では、シャトルラン・長座体前屈とともに記録が伸びつつある。今後も体育科の授業内外で、運動量をしっかりと確保できる取組を進めたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成 32 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 85%以上にする。

○平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年 95%以上にする。

○平成 32 年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成 28 年度の全国学力・学習状況調査より毎年向上させる。

○平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成 32 年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を平成 28 年度（6.65%）より 3 ポイント以上減少させる。

○平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度（96.9%）より向上させる。

○特に課題であるシャトルランと長座体前屈の記録を、平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

○平成 32 年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を昨年度の校内アンケート(83%)より向上させる。
- 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を昨年度以上(94%)にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成30年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 校内アンケートにおける「進んで読書をしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を昨年度（65%）より増加させる。
- 小学校学力経年調査における「算数科の授業内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度（79.6%）より増加させる。
- 校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を一昨年度（80%）より向上させる。（昨年度は72%）

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立菅原小学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめの解消・解決のため、早期発見を目指し、いじめアンケートと教育相談を実施する。また、実態把握と共通理解のため、いじめ防止対策委員会を定期的に行い、日常の児童観察や教職員間の情報交換をはじめ、職員会議や職員朝会を報告の場として活用する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを年3回実施し、事後の適切な対応と解消に努める。 ・いじめ防止対策委員会を年10回以上行う。 ・いじめについて全校で考える場を、年1回以上設ける。 	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>学校や家庭、児童の健全育成に関わる関係諸機関（警察・子ども相談センター・区子育て支援室など）と連携し、防犯教室の開催及び情報交換と行動連携に努める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の研修を含め、警察による防犯教室を2回開催する。 ・薬物乱用防止教室を、高学年対象に年1回行う。 ・スクールカウンセラー等と連携し、クールダ운の場や補習の場など、多くの場面でカウンセリングルームの活用を図る。 ・必要に応じて家庭と連絡をとり、校内ケース会議や子ども相談センター・区子育て支援室と連携したケース会議を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立菅原小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80% 以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○校内アンケートにおけるあいさつに関する項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80% 以上にする。</p> <p>○校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を昨年度(83%)より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>元気よくあいさつのできる子どもを育てるため、児童会を中心に全学年で「あいさつ運動」に取り組む。また、保護者・地域の見守り隊と連携し、日常のあいさつができるよう取り組む。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 回あいさつに関する生活目標を設定し、あいさつ強調週間を実施する。 ・ホームページや学校だよりで、あいさつ運動を年 3 回以上紹介する。 	
<p>取組内容②【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>芸術鑑賞や社会見学および講師招聘による体験的な学習を行う。また、学校全体や学級活動での取組によって自尊感情を育てる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で学期に 1 回以上、「よいところ見つけ」などの取組を行う。 ・芸術鑑賞を年 1 回、社会見学を各学年 1 回以上、体験学習を各学年 1 回以上行う。 ・「いのちと性」の教育事業、子どもの情報モラル教育事業を実施する 	
<p>取組内容③【施策 2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>きょうだい学年による活動の活性化を図り、異学年交流を深めるとともに、自分や他者の価値観を尊重し、相手を思いやる心を醸成する。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月 2 回以上、きょうだい学年による集会活動を実施する。 ・きょうだい学年による活動について、児童アンケートにより振り返りを行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>次年度への改善点</p>	

大阪市立菅原小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を昨年度以上(94%)にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>ホームページや保護者会などで学校からの情報発信を常に行うことで、透明性のある学校づくりを行う。</p>	
<p>指 標</p> <p>ホームページの更新回数を昨年度（900 回）以上、閲覧数を 35,000 回以上にする。</p>	
<p>取組内容②【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>地域との連携のなかでその人材を活用する。地域活動協議会からの防災訓練への参加や地域見守り隊との交流の活性化により、学校と地域の連携をより深める。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とかかわる行事を年 8 回以上（昨年目標 4 回）行う。 ・ 学校教育にかかわる地域人材・ボランティアの人数を昨年度より増加させる 	
<p>取組内容③【施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>P T A 活動（P T A だよりの掲載も含む）や学校にかかわる地域行事をホームページに紹介するなど情報発信し、P T A 及び地域との連携をより深めていく。</p>	
<p>指 標</p> <p>地域や P T A 活動（P T A だよりの掲載も含む）についてホームページ等で紹介する回数を昨年度（40 回）以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立菅原小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p><u>全市共通目標(小・中学校)</u></p> <p>○小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が市平均の 7 割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における正答率が市平均を 2 割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p><u>学校の年度目標</u></p> <p>○校内アンケートにおける「進んで読書をしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を昨年度（65%）より増加させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「算数科の授業内容はよく分かりますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度（79. 6%）より増加させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>読書環境を整備し、蔵書数や読書スペースの増加により、質と量の向上を図る。 地域・P T Aとともに読書に親しみ、読書習慣の定着につなげる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館以外に読書スペースを設け、地域・P T Aに開放する。 ・学期に 1 回以上、読書イベントの機会を設ける。 ・図書館ボランティア、読み聞かせボランティアを拡充する。 <p>取組内容②【施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学力向上を視点において校内研修や研究を充実させる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員参加型の研究授業・研究協議会を年 6 回、その他、研究授業や校内研修を年 30 回以上行う。 ・主体的・対話的な深い学びやプログラミング教育等の新たな課題を含め、メンター研修を年 10 回以上行う。 ・学力向上推進モデル事業として、算数科で年 20 回程度の校内研修、授業参観等を行う。 	

取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

基礎基本を重視した個別の学習支援を行う。家庭とも連携し、家庭学習の習慣化と内容の充実（家庭学習プリント、自主学習ノートなど）を図る。

指 標

- ・授業内における「学びサポーター」の効果的な活用を図る。
- ・年2回家庭学習状況チェックを行う。
- ・学期に1回以上、良い自主学習ノートを紹介し、意欲を高める。
- ・家庭学習・自主学習の手引を作成し、児童および家庭への啓発を図る。

取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

子どもの興味・関心を高めるため、デジタル教科書を使用するなど積極的なICTの活用を行う。

指 標

- ・タブレットや授業用パソコンなど、ICT機器を活用した授業を各学級年間3～5回以上行う。
- ・デジタル教科書の効果的な活用について、1回以上研修を行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立菅原小学校 平成 30 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成 30 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を一昨年度（80%）より向上させる。（昨年度は 72%）</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 スポーツタイムを活用し、体力の向上を図るとともに運動好きな子どもを育てる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期 1 回以上、学年の実態に応じスポーツタイムを実施する。 各クラスで週 2 回以上「みんな遊び」を実施する。 なわとび週間やかけ足週間を実施し、記録カードにがんばりを記入する。 <p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 体育の授業で、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を行うことで、児童の柔軟性を高める。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育科の準備運動で、体ほぐしの運動と体幹を鍛える運動を必ず行う。 全児童が年に 2 回長座体前屈とシャトルランを計測し、効果を測定する。 <p>取組内容③【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 強調週間や清潔調べの実施により、児童の健康に関する意識を向上させる。</p> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康委員会で学期に 1 回、「手洗い・うがい」の強調週間を実施し、チェックカードにより振り返りを行う。 ハンカチやティッシュの携帯を意識づけるため、週 1 回清潔調べをする。 	進捗状況
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	